

修学上の配慮申請書(在学生用)

下記のとおり、修学上の配慮を申請します。

学籍番号	〇〇AB△△△
ふりがな	さいたま たろう
氏名	埼玉 太郎
連絡先	e-mail: _____ 電話:(_____) _____ 連絡のつくメールアドレス (大学メールアドレスが望ましい)
在籍する学部(研究科)・学科・コース・課程等	在籍する学部・学科・研究科・コース等を記入する

連絡のつく電話番号を記入

障がいの種別	視覚・聴覚・肢体・内部 ← 発達・精神・その他()
障がい・診断名	主治医の診断書や障害者手帳に記載された障がい・診断名を記入する 障害者手帳がある場合は「有」に○をし、種類と等級等を記入 (又はリストから選択し、必要に応じ記入する)
障害者手帳	有・無 ← 身体・精神・療育・その他() 級 種

該当する項目に○を付ける
(又はリストから選択して、
必要に応じ記入する)

障がいや疾病の状態

障がいや疾病の状態等を具体的に記入してください。

障がいや疾病に関する状態を、可能な範囲で発生(発病)の時から現時点まで具体的に
記載してください。

※書き切れないうちは、別紙に記載してください。

障がいや疾病に起因する修学上の困難さ

障がいや疾病により、現在修学上、困難になっていることをなるべく具体的に記入してください。

障がいや疾病により、現在、修学上で困難になっていることをなるべく具体的に記載してください。困難な場合は、箇条書き（「・～が出来ない」等）でも結構です。

※書き切れない際は、別紙に記載してください。

希望する修学上の配慮内容

上記の修学上の困難さに応じた、希望する修学上の配慮内容を記入してください。

※支援や配慮の内容は学生本人を含む関係者で検討して決定します。下記に書かれた内容が必ずしも対応されるとは限りません。

上記の修学上の困難さに応じた配慮内容を記載してください。

またこれまでに修学上の配慮をすでに受けたことのある方は、それらのうち希望する内容をこちらに記載することも可能です。

※書き切れない際は、別紙に記載してください。

過去に受けたことのある修学上の配慮内容

今までに受けたことのある支援があればその内容と、どのような支援がどう役に立ったか記入してください。

修学上の配慮を受けたことのある方は、本学以前の在籍校を含め支援内容を記載してください。

記入例1) 「中学生の時に、発表の時間に発表しやすいよう配慮をしてもらっていた」

記入例2) 「本学では令和7年の春学期から、欠席や遅刻について修学上の配慮を受けている」

また役に立った支援があれば、記載してください。

書き切れない際は、別紙に記載してください。

添付する書類の にチェックを入れてください

添付書類	<input type="checkbox"/> 医師の診断書（発行後6ヶ月以内の原本(またはその写し)） <input checked="" type="checkbox"/> (障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの) <input type="checkbox"/> 障害者手帳(写し)(取得済みの場合) <input type="checkbox"/> その他参考資料(写し)
------	---

申請日 令和 年 月 日 ← 提出日を記入してください

私は、上記の理由により、修学上の配慮を希望しますので、申請します。また、障がい等にかかる修学上の配慮を受けるため、本申請書に記載した情報および相談の過程で知り得た私に関わる情報について、必要に応じて情報の一部または全部を支援するために必要な関係者間で共有することに同意します。

署名(自署) 埼玉 太郎
又は氏名

電子的申請受付欄

本申請書の電子メール受信記録を保存しました。

令和 年 月 日 職名・氏名:

本申請書は本人から提出されたものであることを学生証等により確認しました。

令和 年 月 日 職名・氏名: